



奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kiyuna

No.319

2025 Mar.



https://www.eonet.ne.jp/~asn/

発行人:

関西障害者定期刊行物協会

編集人: 奈良県自閉症協会

支部長&事務局: 河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。



### 日本の障害者施設における主な問題点

以下のような課題が指摘されています。

1. 人手不足: 障害者支援施設では、多くの場面でスタッフが不足しており、利用者一人ひとりに十分なケアが行き届かない状況があります。特に重度の障害を持つ利用者の場合、より専門的なケアが求められますが、それを提供できる人材が限られています。
2. 報酬・待遇の低さ: 福祉分野で働く職員の報酬や待遇が十分でないことが、職員不足の一因となっています。その結果、経験豊富なスタッフが定着せず、サービスの質が低下することがあります。
3. バリアフリー環境の不足: 施設自体が必ずしも完全にバリアフリー設計されているわけではなく、移動や活動が制限されるケースがあります。また、建物や設備の老朽化も問題とされています。
4. 多様なニーズへの対応: 障害者はそれぞれ異なるニーズを持っており、それらに柔軟に対応できる体制が必要です。しかし、施設の規模やリソースの限界により、個別対応が難しい場合があります。
5. 地域社会との連携不足: 障害者施設が地域コミュニティと十分に連携していない場合、利用者が社会と孤立しがちです。地域住民との交流

を増やし、社会参加の機会を広げる努力が求められます。これらの課題に対応するためには、政策レベルでの支援強化や、地域全体での理解・協力が不可欠です。また、個々の施設もサービスの向上に向けた努力を続ける必要があります。

特に、自閉症の人を支援する施設に関して、日本ではいくつかの課題が指摘されています。

1. 専門的な支援の不足: 自閉症スペクトラム障害 (ASD) の方々には、個々の特性に応じた支援が必要ですが、専門的な知識やスキルを持つスタッフが不足している場合があります。
2. 療育プログラムの質のばらつき: 欧米ではエビデンスに基づいた介入教育 (EBP) が普及していますが、日本では経験や慣習に基づく療育が行われることが多く、効果的な支援が十分に提供されていないことがあります。
3. 早期介入の重要性: 自閉症の方々にとって、幼少期からの適切な支援が重要ですが、早期介入の機会が十分に整備されていない地域もあります。
4. 地域社会との連携不足: 自閉症の方々が地域社会で生活しやすくするためには、施設と地域の連携が重要ですが、十分な協力体制が整って

いない場合があります。

5. 家族への支援不足: 自閉症の方々を支える家族に対する心理的・経済的な支援が不足していることも課題です。まず、専門的な人材の育成や、エビデンスに基づいた療育プログラムの導入、地域社会との連携強化が求められます。また、家族への支援体制の充実も重要です。

奈良県自閉症協会は今年、総会 (6月22日予定) や NHK ハートフォーラム (11月30日なら100年会館) などで、親亡き後、わたし達の子どもが、お世話になるであろうこれらの施設に関する学習会やフォーラムを行い、これらの課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。多数の皆様のご参加をお待ちしています。 (河村)



一九九六年五月一日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

## 緊急声明 高額療養費制度について

2025年2月12日JDから下記の緊急声明がだされました。(河村) 高額療養費制度における負担上限額の引き上げについて

NPO 法人日本障害者協議会 (JD)

代表 藤井 克徳

政府は2025年8月と2026年8月の二段階に分けて、高額療養費制度の負担上限額を引き上げるとしています。高額療養費制度の引き上げは公的な医療費助成制度のない長期慢性疾患や難病のある人たちなど、中長期にわたり高額な治療の継続が必要な患者や家族に多大な影響を及ぼします。また、この問題は所得水準の乏しい障害者全体にも甚大な影響をもたらします。負担増によって受診を抑制し、治療選択を狭め、その結果、重症化の危険、治療継続の断念につながり、生活の崩壊や命の危

機にも直結しかねません。

障害者権利条約では、政策決定過程で障害のある人たちの声を聴き、決定に参画させることを国や自治体に求めています。本人不在の決定は障害者権利条約に反しています。また、2022年9月に出された国連・障害者権利委員会からの勧告では、費用負担能力に基づいた医療費補助金の制度が不十分であると指摘されています。さらに「費用負担能力に基づいた医療費補助金の仕組みを設置し、これらの補助金を、より集中的な支援を必要とする者を含めた全ての障害者に拡大すること」を求めています。この勧告に逆行する動きであり、容認できません。

石破総理大臣の施政方針演説には、冒頭で「国民1人1人の幸福実現」を掲げつつ、後段では「高額療

養費制度の見直しなどにより保険料負担の抑制につなげる」とあります。高額療養費制度を利用している人たちへの影響や実態をどれほど理解しての発言なのでしょう。

がんをはじめとする命にかかわる疾患、難病や長期的に治療が必要な人たちから、負担上限額引き上げが、いかに大きな影響を及ぼすのか、危機的な状況を訴える声が数多く上がっています。政府は、負担上限額引き上げの決定の際にどれだけ患者やその家族の声を聴いたでしょうか。中長期にわたって高額な治療が必要な人たちの生活実態や影響を把握したうえでの決定だったのでしょうか。多数回該当の人には限度額の見直しを検討されているようですが、それで今般の負担上限額引き上げの影響がなくなるわけではありません。

中長期の治療の必要な人たちの生

活実態や障害者の所得状況を無視し、何より当事者の声を軽視した今般の引き上げ案については、ただちにこれを撤回すべきです。

★参考 障害者自立支援法違憲訴訟原告団・弁護団と国 (厚生労働省) との基本合意文書

(平成22年1月7日) 一部抜粋

国 (厚生労働省) は、障害者自立支援法を、立法過程において十分な実態調査の実施や、障害者の意見を十分に踏まえることなく、拙速に制度を施行するとともに、応益負担(定率負担)の導入を行ったことにより、障害者、家族、関係者に対する多大な混乱と生活への悪影響を招き、障害者の人間としての尊厳を深く傷つけたことに対し、原告らをはじめとする障害者及びその家族に心からの反省の意を表明するとともに、この反省を踏まえ、今後の施策の立案・実施にあたる。 本文終わり

会計より

★「令和7年度会費納入のお願い」今年も梅の花が咲き始めると、ウグイスの鳴き声が聞こえ、春が来たなと散歩も楽しくなりました。これから土手のつくしや月末には桜の花が楽しみです。皆様は、どんな事を楽しまれていますか？さて、ご承知のとおり、東京本部へ(「いとしご」の配布料等)年度初(4/1)の在籍会員数で年会費を納入しますので、ご理解頂き、5月末日までに会費納入にご協力のほど、よろしくお願い致します。会費・納入先は下記のとおりです。(会費)

- ①個人正会員 ¥6000.-
- ②賛助会員 個人¥3000.-
- 法人¥10000.-

(振込先)

①ゆうちょ銀行

口座番号：00980-0-225697

名義：特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会

②南都銀行郡山支店

口座番号：普通預金 1068978

名義：奈良県自閉症協会

代表者 河村舟二

\*お願い：南都銀行に振り込まれる時、(シャカイフクシホウジンやトクテイヒエイリカツドウホウジン)等の法人格名は、記載しないで下さい。

\*住所や名前の変更があれば、下記、理事長河村さんまでお願いします。事務局：理事長 河村舟二  
E-mail

kawafune@ares.eonet.ne.jp

電話 & FAX：0743-55-2763



## 毎年4月2日は世界自閉症啓発デーです

今年も“大和郡山市お城まつり”でライトアップブルーが実施されます

◎今年も大和郡山市の全面ご協力のもと大和郡山城跡にてライトアップブルーを実施いただけることとなりました。桜の名所百景にあげられる大和郡山城跡の美しい夜桜をめでながら、自閉症・発達障害理解の願いをこめ、青いものを身に着けてライトアップを楽しみませんか？

ライトアップ点灯時間は18時から20時までです。当会内外のお知り合いや、自閉症・発達障害関連の活動されている方々にも、是非お誘い願います。

◎当日、お城まつり会場にて、**世界自閉症啓発デー啓発アナウンスをしてくださる方を大募集**しております。当事者・ご家族・支援者のみなさま、会員に関わらず、是非ご自身の声を、桜咲く春の夜空にお届けください！

◎活動PRや場内アナウンスご協力いただける方は、下記のいずれかでご連絡願います

- ・ホームページ「NPO 法人奈良県自閉症協会」のお問い合わせフォームから
- ・メールにて：kawafune@ares.eonet.ne.jpまで
- ・face book：「奈良県自閉症協会」または「Light It Up Blue Nara」へのコメントにて

①お名前

②参加内容（アナウンス・PR・チラシ配布や掲示）

③ご連絡先（メールアドレス・当日ご連絡のつく携帯電話番号）をお知らせください。

◎当日の集合時間・場所

2025年4月2日（火）午後5時45分（ライトアップは午後6～8時）

大和郡山市お城まつり・柳澤神社東側特設ブース



世界とつながる青い夜空のもと、  
理解の輪を広げていきましょう！

### 人手不足が深刻毎年100人前後が退職

【ABC放送 news おかえり特集】の視聴ください。

1月28日、ABC朝日放送のnewsおかえり特集「【人手不足が深刻】毎年100人前後が退職障害者支える社会福祉法人 追われる求人業務」が放送されました。それがYouTubeで視聴できるようになりました。内容は、大阪府吹田市の社会福祉法人さつき福祉会の事業所におけるリアルな現状が、数字も含めてリアルに紹介されており、施設のかかえる困難さが、一般の視聴者にとってもわかりやすい内容になっています。

■ABC朝日放送「《人手不足が深刻》毎年100人前後が退職障害者支える社会福祉法人追われる求人業務【newsおかえり特集】」

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=8Jn1VxQBDqM>  
ぜひたくさんの方に視聴いただければと思います。



## 2024年度 第2回 加盟団体事務局サミット

■実施日：2024年12月24日 ■開催場所：zoom ■加盟団体参加：18団体、20名。

### ■各テーマについての各県の状況および意見

1) 息子は事業所で毎年健康診断を受けていたので福祉事業所で義務付けされていると思っていましたが、茨城の会報誌でそうでないことを知り驚いた。滋賀県では福祉就労や企業就労している人は受けられているが、在宅の方は受けられていない。そこを含めた各県の状況や対応、意見などをお聞きしたい。（滋賀県）

### ●健康診断について

・学校卒業して健康診断をすることが無くなるが、事業所によって健康診断があるところとない所があることがわかり、県の会報誌で取り上げることにした。社会人になってからの方が健康診断は必要になるのに、事業所によってはない。会員にアンケートを取り記事に掲載した。今後どの事業所でも健康診断が受けられるように声を上げていきたい。（茨城）

・事業所では健康診断が無いので、市の健診を受けている。北海道千歳市では、自治体独自の事業として、18歳から39歳までの若年層を対象に、障害の有無に関わらず健康診断を1,000円で実施している。集団検診になるが事前に申し出ると検査項目の見取り図などのカードを作成してもらうこともできる。（北海道）

・在宅の人、年齢の幅もあるので理事会で話題に出していきたい。（千葉）

・会員の健康診断の情報、相談はない。企業就労しているのでそこで受けている。（横浜）

・会員から相談はない。小学部から通っている病院で検査している人はいる。（福井）

・39歳までは1000円で受けられるので受けている。保護者の扶養の範囲で受けている。（長野）

・自分の法人では通所では希望をとって受けたい人が受けている。問い合わせは少ない。

状況の把握はできていない。（富山）

・子どもの入所施設では年に2回健康診断を受けている。費用はわからない。（石川）

・自分の子どもは高校生のため学校で検査を受けている。（福井）

・生活介護事業所に息子さんが通う会員からは、春と秋のひと通りの健診があり、たしか無料。

毎月、体重、血圧測定があり、半年に1度の身長測定もある。（福井）

・学習会で、事業所で受けている人と受けていない人がいることが分かった。

施設で年に2回、健康診断がある。特定の健診はオプションで受ける。（京都）

・視力や聴力はない。在宅の人は市民健診を受けるしかなさそう。

歯科検診がない。前の施設ではあったので希望したが難しい。（京都）

・障害者計画の中でいつでも必要な医療を受けられる環境づくりと書かれており、無料で受けられる。（奈良）

・子どもの健康診断は事業所で参加している。歯科検診は年1回で無料。健康診断に聴力検査は含まれていない。  
(愛媛)

・親亡き後の調査の際にも健診を受けていなくて不安があるとの回答があった。（鳥取）

・生活介護事業所ではほぼほぼなく、就労支援事業所でもない所がある。それらの状況の把握はしているが、まだ対応はできていない。（鳥取）

・市民健診は40歳以上。国民健康保険に加入していれば39歳以降受けられる。他は自己負担だと思われる。  
(岡山)

・事業所で健診を受けたという話は聞いていない。A型では一回もない。（岡山）

・大人の健診は40歳以上でそれ以外は女性の健診がある程度。高校卒業後の障害がある方はそれまでどうしているのかは不明。（広島）

- ・子どもが生活介護の施設に通所しており身長・体重・血圧を毎月計測してくれる。血液検査はないので主治医にやってもらっている。（山口）
- ・親としてわが子の健康管理は大変重要な事であり、年齢を重ねるとともに心配。言葉が発出できない人で在るために定期的健康診断による早期発見が重要。しかし福祉サービスの事業所としては、各事業所ごとに実施状況が異なるのは当たり前のことと言う認識を持っておかなければいけない。障害者支援施設は、「障害者総合支援法、事業者ハンドブックの中の、指定基準編、人員・設備・運営基準とその解釈」の基準に準じて運営を行っており、（健康管理）第36条、の中に示されている基準省令により実施されている。これまでの健康管理に対して不安があるのであれば、事業所に相談をして、今後の検討課題として希望をお伝えすることが肝要であると思う。（香川）
- ・県の条例があることを知って、事業所に伝えられると良い。全ての障害がある人が当たり前で健康診断が受けられるといいと思う。（茨城）
- ・自治体や事業所の対応が様々なことがわかってよかった。（滋賀）
- ・不登校の発達障害者は健診が受けられていない状況なので要望を出していた。受診できるよう環境整備をしたい。（横浜）
- ・不登校を含む生徒の健診について、学校法で定義されていることだと伝えていきたい。（鳥取）
- 医療・健康全般について
- ・偏食のある人が長期入院をする場合、食事の対応をどうしたか経験があれば教えて欲しい（北海道）
- ・障害があっても行ける病院はどこか？という問い合わせがある。（長野）
- ・お医者さんから治療や検査が難しいので様子をみようとする場合が多く課題だと思う。（富山）
- ・体育館で予防接種ができるように対応した。金額はバラバラだと思う。（富山）
- ・予防接種も施設に医者がきて受けている。費用は自己負担。（石川）
- ・自閉症の人でも大丈夫という評判の歯医者さんに行っている。（石川）
- ・インフルエンザの予防接種は事業所が、病院で連れて行ってきて受けている。（京都）
- ・健康保険がマイナンバーカードと合体した。事業所に健康保険証を預けているがマイナンバーカードは預かってもらえない。（京都）
- ・医療を受診するための本人の特徴を書いた紙を作っていた。（京都）
- ・発達障害の人専用の医療の中心病院がある。（奈良）
- ・発達障害の診療にかかる医療機関のリストを県が出している。（奈良）
- ・障害者歯科があり発達している。歯科医師会の人が決まった曜日に自閉症の特徴を学んでくれて、
- ・対処できるようになっている。（奈良）
- ・医療面は課題になっている。胃の検査をどうするかなど。特に血液検査のハードルが高いが、例えば肝臓の検査をエコーでするなど血液検査に代わる肝臓検査ができないかと思う。しかしエコーを使うためには病気であることがわからないといけないなどの意見があり進めていない。（鳥取）
- ・受診の練習のために、医療器具の使わなくなったものをくれたことも。（鳥取）
- ・歯科治療は歯科医師会館の障害者歯科で対応してくれる。また理解が進んできて一般の歯科でも練習から診てくれるところが増えてきた。（鳥取）
- ・県では受診サポート手帳（PDF）を導入している。パソコンで書き込める県があれば教えて欲しい。（鳥取）
- ・施設に入っている方の口腔ケアをしていかなければいけない（岡山）
- ・インフルエンザの予防接種は半額で受けられる。（山口）
- ・集団でインフルエンザ予防接種がある。（福井）
- ・県に本田先生が委員をしている発達協議会がある。5年前から医療関係者が研修を受け地域で自閉症児者を受け入れられるような制度が始まった。地域差はあるが進んできている感じがする。（長野）
- ・偏食は病院と相談するしかない。検査をしないと医療方法が選べないため、CTは全身麻酔でとるので一日入院になった。（今井）

- ・児童入所施設でX線などは慣れていたのでスムーズだった。慣れはすごく大切。
- ・在宅の人は難しい。親が付き添えなくなったら大変。
- ・目の問題が多い。眼球破裂や網膜剥離など。見えるか見えないかではなくて、眼底検査、眼圧検査はやっていただいた方がいい。（樋口）
- ・婦人科で手術した利用者は、親が付き添えなかったので支援者が泊まり込んで対応した。
- ・歯科はちょっとした治療でも恐怖心が高くて、全身麻酔で入院した。

#### ●情報共有

- ・来年度はオンラインとリアルで座談会を行う予定。県外の親御さんや事業所に参加してもらえたら。福井と同じくらいの人口などの地方都市に話を聞きたい。（福井）
- ・三つ折りパンフレットの進捗を確認したい。（横浜）
- ・小児科医で自閉症を診られるようにする勉強会を始めている。（奈良）
- ・今年も啓発目的のヤマザキパンとのコラボでランチパックを作る予定。（岡山）
- ・

#### ●事務連絡

- ・全国大会の集客状況の報告と申し込み方法の変更・追加について案内（中野）
- ・郵送料が赤字になりそう。会費を見直す意見がある。加盟団体の活動・会費を調べた。（東京）

### 奈良県障害福祉関連等情報最新

#### ○（3/13）知事記者会見

HTML <https://www.pref.nara.jp/63365.htm>

テキスト <https://www.pref.nara.jp/63365.htm>

映像 <https://www.youtube.com/live/mpPirqqKFh4>

#### ○世界自閉症啓発デー（毎年4月2日）・発達障害啓発週間関連イベント

「発達障害」という言葉が広く認知されてきた中、近年は脳機能の症状という医学的な視点で「神経発達症」という呼び方もされています。今年も阪奈中央病院の石川先生より、「神経発達症（発達障害）の基礎知識」と「子どもの成長に合わせた支援」について発達に課題ある子とうまく関わるための保護者向けプログラム「ペアレントトレーニング」のお話も盛り込みながらご講演頂きます。詳細は下記をご覧ください。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/306679.htm#itemid306679>

#### ○県庁で授産商品販売会を実施します！

障害のある人が県内の事業所で作っている商品の販売会を開催します。毎月第4水曜日、県内の3～4程度の事業所よりお菓子や雑貨を販売しています。詳細は下記をご覧ください。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/320194.htm#itemid320194>

#### ○チャレンジ！要約筆記 ～書いて伝えてみよう～

2025年度養成講座プレ企画として実施する「チャレンジ！要約筆記 ～書いて伝えてみよう～」。聞こえが不自由な人に、その場で話の内容を書いて伝える「要約筆記」。難聴者をサポートする要約筆記の体験ができます。詳細は下記をご覧ください。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/319844.htm#itemid319844>



2025年3月吉日

関係者の皆様

一般社団法人日本自閉症協会  
会長 市川 宏伸

### Tシャツで繋がろう！ 啓発デーを盛り上げよう！

チャリティ Tシャツプロジェクトご協力お願い

【3月10日～3月16日】チャリティー特別販売期間

皆様 平素より大変お世話になっております。

私共一般社団法人日本自閉症協会は、自閉スペクトラム症についての理解啓発に努めている団体です。今回国連で定めた4月2日の世界自閉症啓発デーに関連して、チャリティ Tシャツプロジェクトを展開し、一般の方たちにもより理解が広がることを目指しています。

つきましては、同プロジェクトに是非ご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。

#### 【チャリティー特別販売期間】（1週間限定）

3月10日（月）午前0時より3月16日（日）24時まで

#### 【販売 HP】JAMMIN の HP のみ販売。

<https://jammin.co.jp/>

（期間外は別団体の紹介となっておりますのでご注意ください）

★Tシャツの売上の20%が当協会への寄付となります。

★コラボは3月10日から1週間の期間ですが、以降も4月30日まで下記のQRコードよりご購入できます。

世界自閉症啓発デー  
4/2日  
国連の定めた  
世界自閉症啓発デー  
発達障害啓発週間 4月2日～8日

みんな たいせつ

つながる えがお

SEASIDE STREET

日本各地で啓発イベントが行われ、詳しくは公益サイトへ

世界自閉症啓発デー  
日本実行委員会  
<公式サイト>

チャリティーTシャツ  
期間限定販売！  
オリジナルデザイン決定！

¥700  
Charity

自閉スペクトラム症の人たちが持つ個性や輝き、これまでの大切な思い出を、蓋が開いた箱で表現しました。蓋が開いてキラキラした世界が広がり、そこに鳥や蝶が集まる様子は、自閉スペクトラム症の人と触れ合うことで、その個性の豊かさや魅力を知り、尊厳が生まれる様子を表現しています。  
"Fill your life with happiness" (人生を、幸せで埋め尽くそう) というメッセージを添えました。

〈チャリティー特別販売期間〉  
2025年3月10日～3月16日まで※  
ご購入はこちらから  
<https://jammin.co.jp/>

※3月17日～4月30日の期間は  
右のQRコードから引き続き  
ご購入いただけます▶▶▶  
<https://jammin.co.jp/c/charityfor/autism/>

※上記期間以外には当協会のTシャツ購入ページは表示されません。  
上記期間内にご確認ください。

#### 【担当・販売期間前の問い合わせ先】

一般社団法人 日本自閉症協会  
事務局長 樋口美津子

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-22 6F  
電話 03-3545-3380 Fax03-3545-3381

mail [asj@autism.or.jp](mailto:asj@autism.or.jp)HP <https://www.autism.or.jp/>

○ろう者向け通訳・介助員 体験講座

盲ろう者向け 通訳・介助員養成講座のプレ企画として、「盲ろう者向け通訳・介助員 体験講座」を開催します。詳細は下記をご覧ください。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/320341.htm#itemid320341>

○「きこえない・きこえにくい方に配慮した新型警光灯 車両」を導入について

奈良県警察では、警察用車両に搭載された警光灯の発光パターンの違いにより、きこえない・きこえにくい方が視覚で警察用車両の緊急走行時と通常の警ら時を判別できるよう、新たな発光パターンを追加した「新型警光灯」搭載の小型パトカーを導入しました。詳細は下記をご覧ください。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/320337.htm#itemid320337>

生活介護の「時間刻み報酬」の撤回を  
「加算頼み」ではなく基本報酬の増額を  
就労Bへの「時間刻み報酬」導入反対

2024年度報酬改定の  
見直しを求める  
緊急要望書

締切  
4/10



団体署名は、法人、事業所、家族会、障害団体、市民団体、ボランティア団体などあらゆる団体が対象です。

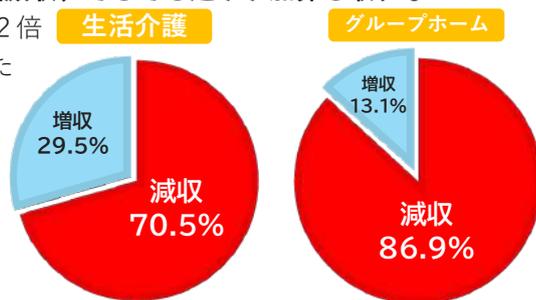
ご協力お願いします！

きょうされんが実施した【2024報酬改定影響調査】には、全国各地から3,177カ所の回答が集まりました。調査結果からは以下の実態が見えてきました。

- 生活介護 基本報酬減収が7割以上、「時間刻み報酬」に反対の声が多数
- 就労継続A型 「報酬基準が低すぎる」と7割が回答、仕事の確保が急務との声
- 就労継続B型 「平均工賃」による評価制度に5割以上が「適切ではない」
- グループホーム 約9割が基本報酬減収、そもそも足りず加算も取れない

政府は「障害福祉予算が10年間で2倍に増えた」と強調して、予算抑制のために、基本報酬の引き下げを図っています。しかしながら、日本の障害福祉予算は、OECD加盟国の中で常に平均を下回っています。さらに財務省は、就労継続B型に「時間刻み報酬」の導入を提案しています。

そこで、きょうされんでは、次期報酬改定を待つことなく、これらの課題の解決に向けて、緊急要望書の団体署名にとりくむこととしました。多くの声を集め財務大臣・厚生労働大臣・こども家庭庁へ届けていきますので、団体・法人・事業所として署名をよろしくお願いします。



【調査報告】

署名方法

a. オンライン  
(Googleフォーム)



<https://forms.gle/aW83KiAL7Tq5ZTKe7>

b. 用紙への入力or手書き

署名用紙⇒きょうされんWEBページよりダウンロード

E-mail [zenkoku@kyosaren.or.jp](mailto:zenkoku@kyosaren.or.jp)

FAX 03-5385-2299

<きょうされん全国事務局> TEL 03-5385-2223 〒164-0011東京都中野区中央5-41-18-4F

財務大臣 加藤 勝信 様  
厚生労働大臣 福岡 資麿 様  
内閣府特命担当大臣 三原 じゅん子 様

## 2024 年度報酬改定の見直しを求める緊急要望書

2024 年度の報酬改定では、生活介護、共同生活援助（グループホーム）、就労継続支援事業などで、基本報酬への「時間刻み報酬」の導入や成果主義が強化されました。多くの事業所は当面の「配慮」等によって大幅な減収を免れていますが、今後、前述の方針で基本報酬がさらに抑制されると、障害福祉の現場は大混乱に陥ります。今回の「報酬改定の影響調査」でも、疑問や不安の声が多く寄せられました。また今回の報酬改定では、処遇改善加算も見直されましたが、「職員不足問題」は、まったく解決していません。しかも物価高騰は、さらなる経営圧迫を強めています。ところが財務省は、営利法人の増勢を理由に、就労継続支援 B 型への「時間刻み報酬」の導入や、グループホームへの総量規制の導入を提案しています。基本報酬の抑制や総量規制で、問題は解決しません。

一方政府は、障害福祉予算が2倍、3倍に増加したと強調します。しかし日本の障害福祉予算の対 GDP（国内総生産）比は1.2%という現状で、OECD 平均の2%を大きく下回り、その水準は20年以上変わりません。日本政府の当面する優先課題は、この障害福祉予算の水準を大胆に引き上げることです。そのためにも、2024 年度に改定された報酬制度は、次期報酬改定に先送りせず、ただちに見直すことを緊急要望いたします。

- 1.生活介護と放課後等デイサービス等に導入された「時間刻み報酬」を撤回し、基本報酬を大幅に引き上げてください。
- 2.就労継続支援 A 型は、急激な報酬減を見直し、最低賃金保障を可能とする仕事の確保策を抜本的に強化してください。
- 3.就労継続支援 B 型への「時間刻み報酬」の導入に断固反対します。また、必要十分な支援体制が確保できるよう、基本報酬を大幅に引き上げてください。
- 4.訪問支援、共同生活援助（グループホーム）は、障害のある人たちが安心・安全に暮らせる支援体制を確保するために、基本報酬を大幅に引き上げてください。
- 5.「利用者本位」ではなく、利益のみを目的とする事業者が参入できないよう、事業指定のあり方を見直してください。

団体・法人・事業所名

住所 都・道・府・県

代表者

（※上記項目に漏れないように記載ください）

現在の事業所の運営や支援の現状、報酬制度の問題点・要望についてご記入ください

【取り扱い団体・送り先】 きょうされん 〒164-0011 東京都中野区中央 5-41-18-4F  
E-mail [zenkoku@kyosaren.or.jp](mailto:zenkoku@kyosaren.or.jp) TEL 03-5385-2223 FAX 03-5385-2299

## 障害者施設待機者、自治体の4割把握せず

(厚労省) 福祉新聞より

全都道府県、指定都市、中核市(129カ所)の中で待機者数を把握していない自治体は4割あり、そのうち9割は今後も把握する予定がなかった

厚生労働省は、11日の「障害者支援施設の在り方に係る検討委員会」に入所待機者調査の結果を報告した。全都道府県、指定都市、中核市(129カ所)の中で待機者数を把握していない自治体は4割あり、そのうち9割は今後も把握する予定がなかった。把握していない理由は「入所待ちについて知りたいというニーズが少ない」「待機者の定義付けが難しい」などだった。

調査は待機者の実態を把握するため、昨年11月～今年1月に行った。

待機者数を把握している自治体について、具体的な方法は施設と市町村からの報告が合わせて5割。頻度は4割が毎年、2割が毎月で、障害福祉計画の作成時はわずか1%だった。複数の施設に申し込んでいる人について実人数として把握している自治体は5割だった。

入所を希望する理由を把握している自治体は25%。理由で最も多いのは家族希望の5割で、本人希望は4%だった。また、将来の備えとしての入所希望が65%を占め、半年以内の入所希望は25%だった。優先的に入所させるための緊急性の評価基準がある自

治体は3割だった。

待機者の定義は「入所申し込みに対して入所できていない数」が7割で最も多く、「その他」が2割、「緊急性の基準を定めた上で入所できていない数」が7%だった。

障害者が地域生活を送る上での課題は、地域資源や専門人材の不足が多かった。地域生活を促進する取り組みとしては、地域生活支援拠点や重度者も受け入れられるグループホームの整備などが挙げられた。

昨年、NHKの調査で全国に2万人超の待機者がいるとする報道があったが、厚労省は待機者数について「自治体ごとに把握方法や定義などが異なるため集計していない」と説明した。

### ■来年度に検討会

同日は前回示された、地域移行を推進するための入所施設調査について、施設に地域移行の意向確認担当者があると、地域移行の希望者のいる施設の割合が高いなど、新たな集計結果も報告された。また、施設・入所者のヒアリング調査結果についての説明もあった。

委員会は今回で終了し、報告書と事例集を取りまとめる。厚労省は来年度、各調査の結果を踏まえて議論を深めるための検討会を立ち上げる。次の障害報酬改定や障害福祉計画の基本指針作成につなげていく。(yahoo ニュス 3/18(火)13:00 配信より)

**ジェイミーのコンサート**  
Jamie's Concert  
第21回  
～尊い個性を愛するために～

出演者: 明石洋子、小川典子、小川典子による演奏

2025年4月3日(木) 11:00開演  
(10:30開場 / 12:00終演予定)  
ミュージア川崎 4階 市民交流室 (川崎駅前・中央西口直結)

大人4,000円 安楽座席  
障害者優先料金  
チケットが長  
チケットが長

**石村嘉成展**  
いしむら よしなり  
Animal History  
動物の歴史

大迫力!  
全長26m 高さ2mの  
「Animal History」  
がやってくる!

いきものたちのワンダーランド  
2025  
4.11 FRI ▶ 5.11 SUN  
10:30-18:00 10:30-19:00  
横浜赤レンガ倉庫1号館 2Fスペース

## 2月26日開催の当会 ZOOM 会議の議事録

会の動きと、皆様からのご意見ご協力を心よりお願い申し上げます。

### ①今秋開催のNHKフォーラムについて

NHK厚生事業団の坂口様と、飯田、湯浅2月20の3名で、会場候補のなら100年会館にて面談。

講師：門真一郎先生（フリーランス精神科医）、西田智子先生（仏教大学社会学部）

開催日：11月30日

当日の大まかな流れ、タイムスケジュール、ホールの確認、予算の確認などを行い、会場予約。次回4月ごろに？詳細打ち合わせの予定。

フォーラムの内容について：「高齢者になる自閉症者と支える高齢家族のいま」（仮）自閉症およびその家族にとって住まいの問題は課題が多く、行動障害が著しいとなおさら深刻。自閉症の方々の自立に向けた実践をされている門真先生と障がい者の生活基盤の実態調査をされている田中先生から、現状課題と課題克服に向けた施策への展望と探りたい。（案）

パネリスト（行政、支援事業所、当事者家族など）、ファシリテーターについても人選を急がれる。

### ②世界自閉症啓発デーの取り組みについて

4月2日当日、日本自閉症協会では全国の取り組みをライブで画像配信を予定。

奈良では、例年の大和郡山市の協力のもと、お城まつり会場での啓発アナウンスとリーフレット配布を行いたい。

サイリウムライト以外に、もう少し目に留まりやすくなるか。

秋のNHKフォーラムにも使えるイベントジャンパーを準備するか。

### ③総会について

開催時期は6月末まで。平日開催にするか、土日開催にするか、少しでも役員さん会員さんヒアリング。6月22日（日曜日）場所郡山市内を予定

当日、TVドキュメンタリー番組制作に取り組んできておられる民間放送局の西村ディレクターを招き、お話を伺う企画をしたい。

④地域の事業所さんを招いてお話を伺う取り組むも次回候補事業所を募りたい。

⑤奈良県から、でいあ主催連絡協議会、あいサポート運動について、その他の情報共有について。以上

（湯浅）

2025年2月28日

全国の皆様へ

## 御 礼

この度は全国各地が豪雪に見まわれる中、第28回日本自閉症協会全国大会 ALL かながわ大会を無事開催することができました。これもひとえに多くの皆様のご尽力によるものだと感じております。あらためて心より御礼申し上げます。

今回の全国大会 ALL かながわ大会は、横浜・川崎・神奈川地域の自閉症協会が共同して開催したものです。

24名の実行委員が2年前の3月から計16回の実行委員会と多くの会議や打ち合わせを行い、大会の企画や周知、宣伝を行ってまいりました。お陰様で2月8・9日の両日合わせて、のべ1421名のお客様をお迎えすることができました。また同時開催されたギャラリー展示「英国とかながわ」には、480名以上のご来場がありました。

内容については、ご登壇いただいた英国自閉症協会のCEOであるキャロライン・スティーブンス氏、福島学院大学副学長の内山登紀夫先生、信州大学医学部教

授の本田秀夫先生による講演の数々、そして自閉症教育とインクルーシブ教育についての日英ディスカッション等、ASD支援についての非常に濃厚で幅広い内容となりました。主催者側も含め多くの方々にとって、貴重な学びの機会となったと感じています。

この企画の共同作業を通じて、日本自閉症協会、関東ブロック及び全国の各協会、ALL かながわ3協会、そして英国自閉症協会という国内外の各協会が強く結びつき、そのことが自閉症の人たちへのさらなる支援の拡大に繋がっていくことを願います。そして英国自閉症協会での学びを契機に世界の自閉症支援に目を向け、私たちにできることを模索し続けていく姿勢を持ちたいと思います。

皆様、本当にありがとうございました。

第28回日本自閉症協会全国大会 ALL かながわ大会  
実行委員長 上杉 桂子

### ●令和7年度前期免許法認定通信教育の受講募集について

特総研では、特別支援学校教諭免許状の取得を支援するため、免許法認定通信教育を開設しています。令和7年度前期免許法認定通信教育の開設科目は次の通りです。

開設科目：

◇視覚障害児の教育課程及び指導法（1単位）

◇聴覚障害児の教育課程及び指導法（1単位）

募集期間：令和7年3月24日（月）～ 4月22日（火）

講習期間：令和7年5月7日（水）～ 8月17日（日）

試験日： 令和7年9月7日（日）

受講を希望される場合には、受講募集要項をご確認の上、4月22日（火）

までにお申込みください。

○受講募集要項はこちら→ [http://forum.nise.go.jp/tsushin/boshu\\_yoko/](http://forum.nise.go.jp/tsushin/boshu_yoko/)

また視覚障害者領域、聴覚障害者領域の免許取得に向け、特総研で実施している第2欄の科目に加え、放送大学では第1欄、第3欄の科目を開講しています。詳細は以下のチラシをご参照ください。

○案内チラシはこちら→

[https://forum.nise.go.jp/tsushin/boshu\\_yoko/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=648](https://forum.nise.go.jp/tsushin/boshu_yoko/?action=common_download_main&upload_id=648)  
(特総研メルマガより)

### PECS ワークショップ情報：PECS ピラミッド・ジャパン

ピラミッドは、世界中でトレーニングワークショップを開催しており、日本全国でも開催しています。早期に満席になってしまう可能性もあるため、早目のお申込みをお勧めします。ニーズに合ったワークショップを選ぶお手伝いが必要な際は、弊社オフィスへお問い合わせ下さい。

オンラインZOOM3月20日 から6月29日分の内容および申し込むホームページで確認してください。

下記のQRコードから全てのワークショップが見られます。ZOOMは無料版をインストールし、ご準備下さい。問合せは：pyramidjp@pecs.com または電話 +81 (6)-4950-9863



発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定 価：100円